

令和6年12月

西日屋村教育委員会
校務DX計画

令和6年6月に図書管理用PC端末の更新を行った。また同年度中に県教育委員会の学校における働き方改革推進事業補助金を活用し、保護者連絡ツールを導入することにより、ペーパーレス化や教員と保護者の連絡の効率化を図る。また、同補助金を活用し、留守電機能付き電話機を導入し教員の負担軽減を図る。

令和7年度には県の共同調達により、校務支援システムを導入し、児童基本情報や年間計画などのデータ化を図り、学習指導や生活指導の質向上はもちろんの事、小学校卒業後は教育事務委託を行っている弘前市の中学校へスムーズに引き継げるように整備を行う。

導入予定の校務支援システムはクラウド型を予定しているが、現在小学校で使用しているファイルサーバはオンプレミスで運用している。村内には小学校が1校のみで、サーバをクラウドへ移行するのかオンプレミスで引き続き運用するかは、イニシャルコストとランニングコストの比較を行い判断する必要があるため、令和8年度を目途に調整する。

校務用PC端末については、令和7年で導入から5年経過し、更新を計画しなければならないが、校務支援システムの導入後に校務用PC端末の使用を調整の後調達する。引き続き機器の使用年数や使用用途に応じた機器更新や新規導入を行うため小学校との情報交換を定期的に行う。